

「安心・安全な地域づくり目指す」

般若自治振興会会長  
林茂之さんに聞く



林茂之 振興会会長

地方分権への時代の流れの中で、その地域の抱える課題に対する地域住民自身の、積極的な取り組みが求められています。

地域振興の旗振り役である自治振興会会長林茂之さんに、一月八日般若農業構造改善センターで、お話を伺いました。

**問** 出初式やら成人式やらで連日、多忙の中、時間を割いて頂き有り難うございます。早速ですが、この地域の当面する課題についてお聞かせ下さい。

**答** 一つは幼稚園の問題ですが、これは今年度中に建築を終え、平成十九年四月から、新しい園舎に園児を迎え入れることが出来ると思います。

二つめに国道三五九号線の問題ですが、現在庄川左岸から橋脚工事が進んでおり、今年度からは右岸でも橋脚の工事に取りかかります。平成二十一年までには県道新湊庄川線まで開通する予定です。

ただその先についてはまだ不確定要素が多く、現在は共同用水路の下を通るようにするという地元のを考えを持って、遅くとも新幹線開通が予定される平成二十六年までには全線完工するように、国、県に強く要請活動を行っているところです。

三つ目には、地域福祉の向上という観点から、庄東センターの施設・設備や運営面での充実を図ることで、今のところはまだ具体的にどうこうするという段階ではありませんが、地域住民の要望を集約して、実現に向けて努力したいと考えています。



柳瀬側から進む橋脚工事 1月10日

最後に実はこれが当面するもっとも大きな課題と考えておりますが、地域の皆さんが安心して暮らせる安全な地域社会を造るための自主的組織を立ち上げることです。

すでに子供見守隊など部分的な安全対策がスタートしていますが、防犯と防災を一体化した総合的な地域安全の組織を、今年中には具体化させたいと考えています。

幸いこの地域では従来からも消防と防犯は一体として活動してきた経緯があるので、そういう活動に関わってきた人と、さらに看護師や重機の免許保有者など特殊技能を持った人たちの協力も得た、この地域独特の総合的な防犯防災組織が出来ないものかと考えています。

**問** もともと災害や事件事故の少ない地域で住民の危機意識が低いですから、組織作りも大変だと思えますが。

**答** 現在地域の指定避難場所は般若中学になっていますが、たとえば地震で段丘上にある共同用水路が決壊した場合、避難場所が般若中でいいのか。上からのお仕着せの防災体制でなく、地域住民の手による地域の実情に即した対応が必要です。また今頼成の各常会で行われている夜間巡回などどうリンクさせるかも大切で、そういう地域の実情と絡めて訴えれば理解が得られるのではないかと思います。

**問** 砺波は市としてこそ人口が増えています。当地域では依然として低落傾向にあります。庄東小も般若中も児童生徒数の減少に歯止めがかからず、平成二十年には小学校が二百人余り、中学校は百二十人

季節のふとねぎょう湯の加減

林 香月子

前後と推定されていますが。

**答** 学校の小規模校化は避けられませんが、小規模校なりの特色のある教育をしてもらえば良いのではないのでしょうか。学区の再編などということまでは考えていません。ただ人口の減少は地域の活力を削ぐことにもなりかねないので、この点については三五九号線の全通と共に、市の中心部との時間的距離が大幅に短縮されることから、市当局にも働きかけて、十戸ないし十五戸程度のミニ団地を何力所か造成できないものかと考えています。

**問** 住宅団地の進出はそれなりにまた新たな課題を生み出すと聞いています。

**答** そうです。大規模な団地の進出は、良きにつけ悪しきにつけそれまでの地域の生活そのものを大きく変えて、時には新旧住民の間に思わぬ対立を生むこともあるようです。そのためにも、新住民が地域に自然に融け込むようなミニ団地の方が適しているのではないかと思います。

**問** 光寿会の活動について一言お願いします。

**答** 高齢者の方々には地域の環境問題、特に花と緑の活動や交通安全のことについて、尽力して頂いております。ペタンクなど軽スポーツの施設や老人会の諸活動に対しても、財政的な支援をと思っておりますが、他地区では一般に一万円程度の振興会費が、当振興会では六千円という額であることから、なかなか思うに任せぬのが実情で申し訳ないと思っております。

**問** ところで会長さんも今年は一四会ご卒業とのことですが。

**答** 同級生が頼成に九人おりますが、そろって光寿会に加入しようではないかと話し合っております。

**問** ぜひお願いします。今日はお忙しいところ本当に有り難うございました。

